



## ＜令和6年度 学校教育目標＞

仲間と未来を創造し 自ら学ぶ子どもを育てる ～やる気 粘り強さ 思いやりの心～

〈目指す子ども像〉

①人と協働し考え合う子（主体的・対話的で深い学びを通して）～友達と意見を出し合い、問題解決に向けて粘り強く取り組み考え続ける子ども～

②人や物、自分を大切にする子（自尊感情や人権意識、社会的規範意識を育てる中で）～命の大切さを考え、友達の気持ちを考えて相手を大切にしながら仲良く活動をすることができる子～

令和6年度第2回「北醍醐教育アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果をご報告いたします。

児童、保護者、教職員へのアンケート12項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせて実現度として示させていただきます。

## 第2回「北醍醐教育アンケート」結果（前期比較）

児童	前期	後期	保護者	前期	後期	教職員	前期	後期
①学校に行くのは楽しい。	93.0%	85.3%	ご家庭で、楽しく学校に通えるよう働きかけている。	93.4%	92.6%	「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	88.2%	100.0%
②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	92.3%	92.3%	友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送れるよう働きかけている。	92.7%	94.3%	互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身につくよう働きかけている。	93.8%	100.0%
③自分からあいさつしている。	87.4%	82.5%	家庭や地域で場面にあったあいさつができるよう働きかけている。	90.1%	91.0%	進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するよう指導している。	93.8%	100.0%
④困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	73.4%	75.5%	ご家庭で、お子さんの話を聞いている。	94.0%	91.8%	子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	100.0%	100.0%
⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	85.3%	81.1%	お子さんが意欲的に学習に取り組めるよう働きかけている。	79.5%	73.8%	ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身につくよう指導している。	100.0%	100.0%
⑥学校や家で、自分から読書している。	69.9%	60.8%	ご家庭で、お子さんが読書をするような環境づくりを心掛けている。	50.3%	43.4%	読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするよう働きかけている。	92.3%	87.5%
⑦家で学年に合った家庭学習をしている。（1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分）	70.6%	63.6%	ご家庭で、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身につくよう働きかけている。	64.2%	61.5%	授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	92.3%	93.8%
⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。	92.3%	95.1%	お子さんは、きまりや安全のルールを意識し、守っている。	88.1%	90.2%	きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着するよう指導している。	100.0%	100.0%
⑨毎日、決まった時間に早ね早起きし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	89.5%	90.2%	ご家庭で、お子さんが基本的な生活習慣が身につけられるよう働きかけている。	90.1%	91.0%	基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身につくよう指導している。	100.0%	100.0%
⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	92.3%	93.7%	お子さんが自分の安全を守る意識を高められるよう働きかけている。	94.0%	91.0%	ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的規範意識の高揚に取り組み、児童に定着するよう指導している。	100.0%	100.0%
⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しんでいる。	93.0%	88.8%	お子さんが縦割り活動などの異年齢集団を中心して仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう働きかけている。	88.7%	87.7%	児童は、縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう指導している。	100.0%	100.0%
⑫将来の夢や目標（こんな人になりたいなど）がある。	86.0%	81.8%	お子さんが夢や希望を持って将来の生き方や生活を考えられるような会話をしている。	77.5%	79.5%	児童が将来の夢や目標をもてるよう働きかけている。	92.9%	100.0%

アンケートの結果より北醍醐の良さとして、児童の安心感や協働意識の向上が見られています。（友だちにやさしくする、挨拶する）。また、安全意識や基本的生活習慣が定着しており、規範意識の向上が見られます。一方、児童の学校への楽しさが前期に比べて低下しており、学校生活の充実を教職員、学級でも見直していきたいと思います。また、読書習慣や家庭学習の取り組みが減少している点が課題として見られます。現在新しい教育を進めていく中、児童自身が課題を見つけて学びを進めていく形が求められてきました。家庭学習においても自学自習とし学びを深め広げる形へと変化しつつあります。児童の学びを支える、伸ばしていくける教育を目指して取り組んでまいります。児童が友だちにやさしくし、仲よく学習や活動をしている割合が高く、ご家庭でも友だちとの関係をサポートしていただいているおかげです。学校教育目標である「仲間と未来を創造し」合える人間関係作りが築き上げられている部分でもあります。今後も楽しい・安心できる場所と思える学校するために、相手を思いやる行動の実践を続けてまいります。

## 【R6 後期アンケート結果を受けて】

保護者の皆様から頂きましたアンケート自由記述欄からは、前期同様に学校への取組に対する感謝のお言葉をいただく一方で、学校での取り組みや施設の様子、登校に関するご意見などをいただきましたことができました。それらの意見を学校でも共有し、すべての子ども達にとってよりよい、楽しい学校になるよう教職員、保護者の皆様と一緒に改善していかなければと考えています。ご意見の中には、感染症による学級閉鎖の連絡を他学年でもいただければというご意見がありました。これまででは、該当学年のみのお知らせっていましたが、集団登校での欠席状況等の確認にも必要かと判断し、「すぐーる」での全学年配信をすることにいたしました。また、学校設備や施設についてのご意見もいただいております。施設の老朽化や重要設備の改修など多くの課題がありますが、今後も頂いたご意見を参考にしながら、快適な学校になるよう、改修計画を進めていきたいと考えています。なお、令和8年度には、体育館の全面改修工事が予定されています。